

平成 27 年第 15 回美唄市教育委員会会議録

1 と き 平成 27 年 11 月 18 日（水）

午後 4 時 00 分～午後 5 時 35 分

2 ところ 教育委員会室

3 出席委員

高橋委員長 森田委員 齋藤委員 土肥委員 早瀬教育長

4 説明員

伊藤教育部長 阿部学務課長 西田学務課主幹 日下学校給食センター所長

畑島指導室長 高田生涯学習課長 佐藤生涯学習課主幹 谷村サテライト・キャンパス推進室長 飯野図書館長 林郷図書館主幹 高橋学務課主査

5 開会

土肥委員を署名委員に指名

会期を 1 日と決定

6 議件名

議案第 42 号	美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件
議案第 43 号	美唄市体育センター条例の一部改正の件
議案第 44 号	平成 27 年度美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書提出の件
その他 1	平成 28 年度美唄市教育行政執行方針（骨子案）について
その他 2	第 2 次美唄市生涯学習計画後期計画（素案）について
その他 3	第 3 次美唄市子ども読書活動推進計画（素案）について
その他 4	美唄市総合教育会議の開催について
その他 5	アルテピアッツァ美唄の美術館化について

概要記録

16:00

●高橋委員長 ただいまから、平成27年第15回美唄市教育委員会議を開会します。順序第1 会議録署名委員に、土肥委員を指名いたします。次に、順序第2 会期の決定につきましては、本日1日とします。次に、順序第3 教育長報告並びに行事報告・行事予定について事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 資料に基づきまして、説明いたします。

※教育長報告（添付資料 別紙1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙2）

●高橋委員長 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明がありました。何か質問がありますか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 次に、議案第42号 美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件を議題といたします。

●高田課長 議案42号 美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件について、ご説明を申し上げます。本件につきましては、かねてより、史料館の入館者の増加を図るため、特別展示室や視聴覚室の利用促進を強化してきたところですが、施設を一般市民に専用使用させる催事事業が活発になるにつれて、専用使用する方から、見に来てくれる方は入館料が徴収されることから、案内しにくいという意見がありました。以前、社会教育委員会議の中でも入館料を廃止して、施設使用料の方式に改めてはとご提言を頂いたところでございます。入館料につきましては、市の貴重な財源となっていますので、全面廃止することは、困難でございます。このため、専用使用の催し物の参加者については、入館料を徴収せず、新たに、専用使用料を設定して徴収するための改正を行おうとするものです。新旧対照表の方をご覧になっていただきたいと思います。そのための改正といたしまして、第4条に、ただし書きといたしまして、「専用使用をするものが行う催事等の観覧又は参加をするときは、入館料の納付を要さない。」旨の規定を設けました。新たに、第2項として、専用使用料の前納についての規定と、下の表にあります別表の方で使用料を定めようとするものであります。特別展示室は1日につき910円、視聴覚室につきましては1時間につき540円です。この金額につきましては、道内の類似施設の状況を参考に設定をさせていただいています。施行期日は平成28年4月1日としておりますので、ご審議をお願いします。

●高橋委員長 ただいまの件に関しまして、委員さんの方から何かご質問はありませんか。

●森田委員 私は、以前、特別展に行って、入館料を払って見た経験がありますが、催事等の観覧のときには入館料の支払いは必要がなく、その時、一緒に史料館の方を見て行こうとなったとき、入館料の支払いが必要になると、受付の方が結構大変になるのではないのでしょうか。

●高田生涯学習課長 専用使用しているときは、入口を少し工夫いたしまして、異動が必ず受付の前を通る形にしたいと考えております。

●高橋委員長 ほか、何かありますか。ほかなければ、議案第42号 美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第43号 美唄市体育センター条例の一部改正の件の説明をお願いします。

●高田生涯学習課長 議案第43号 美唄市体育センター条例の一部改正の件について説明いたします。本件に関しましては、平成26年4月から北海道教育委員会から無償で借用して体育センターとして使用しております旧美唄工業高校の体育施設につきまして、現在実施しておりますトイレ、事務室、玄関スロープ等の設置工事がまもなく完了いたしますことから、現在の暫定的に適應しております旧体育センターの料金体系を見直しまして、新たに設定する内容のものです。改正内容につきましては、新旧対照表の方で説明したいと思いますが、第1条では、体育施設の用途の基準で改修していますことから、これまでありました「各種行事」という部分の表現を削除することといたします。第2条の次に、第2条の2ということで追加しまして、体育センターを構成する施設について定めております。まず、体育館こちらにはクライミング・ウォールが含まれています。そして格技室、弓道場ということです。別表には、施設ごとに専用使用料を設けたほか、クライミング・ウォールを使用する際の加算料金を新設しました。クライミング・ウォールを除く使用料は総合体育館の水準を基本に算定したもので、クライミング・ウォールについては、主に設備の維持を目的に徴収するもので、利用団体の登攀道場美唄から、市外の類似施設の状況をお聞きしながら使用料を設定したものです。体育館の専用使用につきましては、日中1時間につき620円、夜間は1.5倍を設定しているので930円、1日借上げしていただいた時には、7,450円、格技室については、日中は1

時間 330 円、夜間は 1 時間 500 円、1 日 3,990 円。弓道場につきましては、日中 1 時間 330 円、夜間 500 円、1 日 3,990 円としています。クライミング・ウォールを体育館の中で使用するという場合には、ただいまの金額に、日中の場合は、1 時間 540 円、夜間 810 円、1 日の場合は 6,420 円を加えた金額を収めてもらうことになります。冬期間の暖房使用料については、今まで通り、使用料の 5 割増しと変わっていませんが、クライミング・ウォールの使用料については、暖房料の加算はしないということになって、暖房費の対象から外しています。次に、個人使用の場合についてです。クライミング・ウォールを使用する場合、小・中学生は無料、高校生は 1 回 50 円、一般は 1 回 100 円ということで考えています。個人の使用料については平成 29 年度に向けて、28 年度中に全庁的にサービスコストに応じた料金見直しが行われる予定です。そういうこともありますので、総合体育館と併せてコストに応じた検討を行う予定です。これは、先ほどの郷土史料館やほかの施設についても同様の取り扱いになっていますので、個人の入館料については、今回見直しはしないこととなっています。今回は、平成 28 年度に向けた料金改定もあるので、現在、料金設定のない新たな項目のみ実施することにしています。施行期日は平成 28 年 4 月 1 日となっています。以上です。

●高橋委員長 ただいまの件に関しまして、委員さんの方から何かご質問はありますか。

使用中の怪我については、個人で対処するということですね。

●高田生涯学習課長 こちらの方に原因があれば話は別ですが、基本的には体育施設を使っただけの怪我は個人の責任ということで考えています。

●高橋委員長 特に施設の中であった場合の保険は入っていないということですね。

●森田委員 クライミング・ウォールは、専用が使っていなければ、自由に使っていいということですか。

●高田生涯学習課長 使用の割り当てというのがあって、曜日とか時間帯によって使える時間が決まっているので、その時間帯に使うということになるのですが、特殊な設備になりますので必ず経験者と一緒に使うというのを条件にしています。1 人で行って自由に使えるというものではありません。出来れば、団体に加わった形の中で、集団で使っていただきたいと思います。

●森田委員 ということは、団体があるということですね。その団体に属していれば、団体の団費で払ったり、専用の費用を払ったりすることなのですね。分かりました。

●高田生涯学習課長 使用については、クラブに払うお金は別になると思いますが、

使用料については、その都度、負担していただくということになります。

●高橋委員長 よろしいですか。ほかに、何かご質問ございませんか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、議題第 43 号 美唄市体育センター条例の一部改正の件は、原案通り可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは原案の通り可決します。

次に、議案 44 号 平成 27 年度美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書提出の件について議題といたします。

●伊藤教育部長 議案第 44 号 平成 27 年度美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価について説明いたします。本件につきましては、毎年 12 月の市議会定例会に報告している案件でございます。表紙を 1 枚めくって頂きますと、1 ページの「1 はじめに」の（1）に趣旨等が記載されていますが、報告する根拠につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきまして、教育委員会で行いました活動の報告書をまとめていくことになっています。（2）の点検・評価の対象につきましては、平成 26 年度美唄市教育行政執行方針に掲げた学校教育、社会教育及び社会体育の重点的な項目としています。（3）の点検・評価の方法につきましては、外部の評価員の方に入ってもらって、内部評価をした上で、評価してもらいました。評価員には記載の 3 名の方をお願いしました。2 ページ以下の内容につきましては、昨年同様の構成としています。2 ページ目の 2 の教育委員会の活動状況につきましては、会議の開催、教育委員会議以外の活動状況、条例・規則の制定・改廃状況、3 ページには、審議会等の審議状況などを掲載しております。また、4 ページには、26 年度的美唄市の教育行政執行方針の構成を載せており、構成は 4 ページ記載の通りになっておりまして、構成に基づきまして、点検・評価を行っています。5 ページ以下は各分野の点検評価、事業実施状況、今後の課題等の整理をしています。10 ページには、学校教育に関して外部評価員の方のご意見を掲載しています。19 ページになりますが、こちらは、社会教育関係で外部評価員の意見を掲載させていただきました。20 ページには、社会体育に対する外部評価の方の評価、ご意見を掲載しています。以下、資料編といたしまして、会議の開催状況等を掲載しております。この内容を確認していただきまして、12 月に開催されます市議会定例会に報告案件として提出させていただきたいと思っております。よろしくご審議をお願いします。

●高橋委員長 ありがとうございました。ただいま、平成 27 年度の教育委員会の

活動状況に関する点検・評価について説明をいただきました。先ほど配布されたもので、内容については、まだ委員さんの方で確認されていない箇所等あると思います。

●伊藤教育部長 内容につきましては、事務局で責任を持って確認をしておりますが、後ほど見て頂きまして、お気づきの点などございましたら、ご連絡いただければ、ありがたいと思います。

●高橋委員長 説明内容については分かりましたが、再度、確認した中で、何かご意見・ご質問等があれば、事務局の方にご連絡いただくということでよろしいでしょうか、特に、何か評価的に指摘があった点ということはありませんか。

●伊藤教育部長 外部評価の評価員の方からは、「概ね良好」な評価を頂いておりますが、特に、学力向上に関すること、社会教育施設の整備に関することにつきましては、引き続き取り組んでいただきたいということで評価を頂いています。特に新しい項目はなかったと思います。

●高橋委員長 例年通りの評価をされているということですので、その点を考慮して頂きまして、もし何かあれば、事務局に連絡をお願いします。

そのことも踏まえて、議案 44 号 平成 27 年度美唄市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書提出の件については、原案通り可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、原案の通り可決します。

次に、その他 1 平成 28 年度美唄市教育行政執行方針(骨子案)についての説明をお願いします。

●伊藤教育部長 その他 1 平成 28 年度教育行政執行方針(骨子案)についての説明いたします。最初に、教育行政に臨む基本方針で、内容的には前年度と同様であります。基本的な考え方としましては、3 点あげておりまして、1 点目は、総合計画におけるまちづくりの戦略の一つである「人づくり(人材育成)」を進めるという観点から。本年度は前年度と表現をやや変えましたが、「地域資源の活用を図りながら、自主的に学ぶ意欲の向上に取り組む。」という考え方、2 点目は、「学校、地域、家庭の連携を取りながら、「地域の教育力」を高める。」ということで、「学力の向上と体力の向上については、継続的な課題として取り組む。」こととしています。3 点目は、「豊かな人生を支える生涯学習を進める。」ということで、「少子高齢化が急速に進行する中、生涯学習活動の活性化に向け、健康づくりや文化活動の交流促進に取り組む。」という基本的な方針の下に、教育行政執行方針の組み立てをしたいと考

えております。また、2 点目の平成 28 年度の施策の体系については、大項目といたしまして、「1 学校教育」、「2 社会教育」と大きく分けまして、以下、中項目、小項目に分けていますが、全体の構成につきましては、前年度と同じ構成となっています。次に 2 ページになりますが、記述の概要をまとめています。「1 はじめに」という執行方針の出だしの部分でありますけども、「今日的な教育課題への対応」「教育に関する大綱に基づく施策の推進」につきましては、法律の改正に伴いまして、市長部局におきまして、大綱が策定されることとなりますので、新年度は、それに基づいた推進を図ることとなりますので、その記述を入れたいと考えております。また、「教育・文化の質的向上」につきましては、昨年と同じと考えております。以下、学校教育等の記述内容を項目としてあげております、アンダーラインを引いたところがある項目は加えたり修正したりした項目となります。(2) 小中学校教育の「確かな学力の育成」に関しましては、ICT の活用等による授業の工夫、改善などを記述し、また「豊かな心の育成」に関しましては、美唄市いじめ防止基本方針に加えまして、市の基本方針も新たに策定いたしましたので、これに基づく対応という表現に変えたいと思います。また、下から 4 行目ですが、「信頼される学校づくり」の中では、「美唄市教育の日」の制定が予定されていますので、新年度はこれとの連携についての記述も考えております。また、3 ページ目になりますが、3 の社会教育の中で、(2) の「生涯学習活動の充実」の中では、美唄サテライト・キャンパス事業を教育委員会の中に担当事務局を設けましたので、このような書き方を予定しているところです。また、「社会教育施設」では、アルテピアッツァ美唄の美術館化を進める準備をしていますので、その点にも触れたいと考えております。また、4 の「むすび」につきましては、複雑・困難な時代状況を克服するため、地域の特性を生かして、教育や文化の質的向上を目指していく意思などを記述したいと考えております。次の 4 ページに行きます。参考といたしまして、10 月末に学力向上プロジェクトチームから提言をいただいた内容について、項目で記載しております。この提言に基づいて、平成 28 年度の施策について組み立てを考えて行きたいと思っておりますので、参考として掲載させていただきました。また、下の表につきましては、教育行政執行方針の構成と予算費目との対応関係を表にしたものです。以上のような、骨子案に基づきまして、今後、市P連との教育懇談会等で新年度予算の要望なども提示されると思いますが、それらを踏まえた上で、平成 28 年度の予算及び教育行政執行方針の取りまとめをしていきたいと思っております。よろしく、審議をお願いいたします。

●高橋委員長 平成 28 年度教育行政執行方針(骨子案)についての説明をしていた

だきました。何か質問、ご意見ありませんか。今進めている美唄型教育研究会の内容については骨子案で触れることはないのですか。

●伊藤教育部長 大綱の内容については、具体的な項目は、3年間の経過期間の中で、順次、取り組んで行きますので、28年度具体的にやるものについては、28年度の執行方針の中で触れることとなりますが、まだ、具体的なことは出てきていないので、これから検討していただく内容で具体化して、今年度内には大綱として、最終的に策定をしていただく予定になっていますので、その段階で整理されたものは、執行方針で触れたいと思っています。

●高橋委員長 その他 1 平成 28 年度教育行政執行方針(骨子案)については何かお気づきの点があれば、事務局の方をお願いします。

次、その他 2 第 2 次美唄市生涯学習計画後期計画(素案)について説明をお願いします。

●高田生涯学習課長 その他 2 第 2 次美唄市生涯学習推進計画後期基本計画(素案)につきまして説明させていただきます。この計画につきましては、本年 5 月、第 7 回の会議におきまして、策定スケジュールのご説明させていただきましたが、庁内策定委員会におきまして、計画原案を作成し、9 月 25 日に社会教育委員会議に諮問いたしました。その後、社会教育委員さんによる検討が加えられまして、11 月 12 日に答申を受け、その時の意見を反映させたものが、本日お配りしました計画素案であります。この素案につきましては、12 月市議会定例会の議員協議会におきまして、議会説明の上でパブリックコメントを募集し、完成した計画書を、庁内検討会議で確認した上で 2 月の教育委員会議に完成報告をさせていただきたいと思います。最終的には、3 月に市議会に報告させていただきます。素案の内容につきまして、概要版がございますので確認いただきたいと思います。計画期間は、平成 28 年度から 32 年度の 5 か年といたしまして、施策の体系といたしまして、図に示している通り、目指すべき生涯学習社会として、「出会い、交流、創造、未来」と掲げています。その下に、「人を育てる、文化を創る、時代を開く」を 3 つの柱として、さらに 6 つの基本施策で構成していく内容となっています。次に、素案の計画書がありますが、こちらの目次をご覧くださいと思います。1 ページ目に、生涯学習の意義ということで述べております。次に、現状と課題ということで 3 ページから第 2 次計画の前期計画の実施状況、また、生涯学習をめぐる動向、今後の課題をまとめております。13 ページ以降に、施策の体系といたしまして、望ましい生涯学習の姿、計画の位置づけと計画期間、施策の体系、そして 4 番目に個別分野の取り組み方法ということで、16 ページ以降、6 つの基本施策に応じた内容に

まとめております。21 ページ以降は、生涯学習施設の現況、施設の利用状況、23 ページ以降は、第 2 次美唄市生涯学習推進計画(前期基本計画)検証表、諮問書、答申書、社会教育委員名簿を付けています。計画書の内容につきましては、本日お配りしたばかりで、十分、お目通していただく時間はありませんでしたが、パブリックコメントをいただいてから最終の調整を行いますので、それまでの間にお気づきの点等ございましたら、生涯学習課の方へお知らせいただければと思います。よろしくお願いします。

●高橋委員長 ただいま説明がございましたが、第 2 次美唄市生涯学習推進計画後期基本計画(素案)につきまして、何か質問等ありますか。内容的には、先ほど渡されたばかりで熟読していないと思います。パブリックコメントがあるということですが、今後、質疑、討議する時間はありますか。

●高田生涯学習課長 最終的には、2 月の教育委員会議で完成版の報告させていただきますので、それまでの間に必要であれば、教育委員会議の際にでも、内容等について、ご質疑等いただければ、そういう場を設けさせていただきたいと思います。

●高橋委員長 今、報告がありましたが、すぐ質問、意見等は難しいと思いますので、今後、教育委員会議等で取り上げていただければと思います。それでは、その他 2 第 2 次美唄市生涯学習計画後期計画(素案)については、終わります。

次に、その他 3 第 3 次美唄市子ども読書活動推進計画(素案)について、説明をお願いします。

●飯野図書館長 その他 3 第 3 次美唄市こども読書活動推進計画(素案)について説明します。本市では、平成 22 年 3 月から子どもたちの読書活動の推進を図るため、第 2 次美唄市こども読書活動推進計画を策定し、今年度までを計画期間とし、様々な活動に取り組んできました。これまでの取り組みを踏まえまして、さらに子どもたちの読書活動を推進するため、平成 28 年度から 5 年間を計画の期間とする第 3 次美唄市子ども読書活動推進計画を、今年度中に策定いたします。計画素案の資料を添付しておりますが、庁内の検討委員会を設置し、計画策定の参考資料とするため、市内の小学校・中学校・高校の児童生徒を対象としました読書活動に関するアンケート調査を実施したところであります。アンケートの実施結果につきましては、計画素案の資料編の最終ページに記載してあります。計画素案の作成に当たりましては、これまでの読書活動の計画素案の 7 ページに記載があります、4 つの基本方針を基に、さらに計画素案の 9 ページから 17 ページには、子どもたちが発達段階に応じて、本に親しみ、自主的に読書を行い、生涯に渡る読書習慣を身に付けられるよう環境の整備を図ることを基本とし、効果的に読書活動を推進していく

ために、家庭、地域、学校、行政が一体となり、それぞれの役割と具体的な取り組みを示しています。また、子ども活動を支援する団体からの推薦及び一般公募からなる委員で構成する美唄市子ども読書活動推進計画検討会議を設置し、庁内検討委員会で作成した計画の素案を検討会議でご審議していただき、ご意見等を計画に反映させていただき、計画素案としたものをご提示させていただきました。今後につきましては、この計画素案を、12月市議会定例会において、議員の皆様の説明し、翌年1月に市民からのパブリックコメントを行い、3月に委員会議に計画提示をしまして、4月に公表をしまいたいと考えています。以上です。

●高橋委員長 その他 3 第3次美唄市こども読書活動推進計画(素案)について何か、質問、意見等ございませんか。

●土肥委員 子ども読書活動推進計画 1次、2次、今回3次ということですが、1次、2次の子ども読書活動推進計画の内容と今回の計画で大きく違った点や加えられた点というのは、どういうところですか。

●飯野図書館長 まず、計画書の9ページ、ブックスタート事業の部分で、前回との変更点は、「健康推進課が実施する乳幼児健診等で図書館と連携し、効率的な絵本の配布を推進します。」というところで、3歳児の部分で、図書館のおはなしの会が、月3回、第2・第3土曜日及び第4金曜日のおはなし会の時にブックスタート事業として絵本の配布を行いました。が、なかなか、皆さんへの交付率が悪かったものですから、平成26年の10月から、健康推進課であります3歳児検診でもブックスタート事業ということで、絵本の配布に取り組みを始めました。あと、大きな変更点としては、2の読書環境の整備と充実ということで、13ページのA部分ですが、読書環境を整備し、幅広いジャンルの蔵書を充実させ、保護者と子どもたちに図書館に興味を持ってもらうようにしますという部分を付け加えてもらいました。また、3の読書活動ネットワークの整備の部分で、15ページの「図書館司書によるブックトークなど、支援体制を強化し、また、担当者会議などにより、情報の共有化に努めます。」という部分も付け加えさせていただきました。あと、4の子どもの読書活動に関する理解と普及の部分で、「市立図書館の広報活動の推進で、ホームページなどを通して、市民に対し周知活動を充実させ、行事への参加を推進します。」という部分も付け加えさせていただきました。この部分が大きな変更点です。

●高橋委員長 土肥委員よろしいでしょうか。大まかには変わっていないということですが、付け加えた部分が多少あるということですが、よろしいでしょうか。

●土肥委員 はい。

●高橋委員長 あと、何か質問等ございませんでしょうか。

●森田委員 今、各学校を回って行っている移動図書館ですが、保護者方とかは、学校便りとかで、自分の子どもの学校に移動図書館来るから、自分も行ってみようという方もいるかと思いますが、例えば、忙しくて子どもと一緒に移動図書館を利用できない方のために、例えば生協の前やコアビバイの前とか、学校とは別の場所で移動図書館を行うというアイデアっていうのは、無いですかね。

●飯野図書館長 一度、生協の前とか考えたのですが、貸出期間が2週間になっていまして、2週間に1回は回るのですが、その方が2週間後に来るかどうかということが課題としてありましたことから、生協の前は難しいと現状を考えていました。他の箇所につきましても、今、いろいろ模索しているのですが、なかなか、利用者が伸びないような状況です。あと、有為団地や共練団地の方も回っていますが、借りる方が固定化されているような状況で、なるべく市民の方が利用できるような場所はどこが良いかという部分も、今後、検討していかなくてはいけないことと考えています。

●高橋委員長 よろしいですか。

●森田委員 そういうことをしている情報は、私ははじめてでした。もしかしたら、メロディとかに載っていたのに、私が見逃しただけかもしれないですが、もっと多くの人たちに読書してもらいたいとか、本を借りて読書してもらいたいという思いがあるのでしたら、もっとたくさんの人に知ってもらう努力とか、それをやった結果、こうだったというのが、我々にも伝えてもらえれば、違う方法が考えられるかなと思いました。

●飯野図書館長 移動図書館の日程については、メロディの行事予定や図書館のホームページ中で、お知らせしています。

●高橋委員長 あと、何かありませんか。また、この後も、お気づきの点があれば意見等出していただければと思います。よろしくお願いします。なければ、第3次美唄市こども読書活動推進計画(素案)については、これで終わります。

次に、その他4 美唄市総合教育会議の開催について、説明をお願いいたします。

●伊藤教育部長 今年度、第2回目の美唄市総合教育会議の開催は、11月30日ということで市長部局から連絡がありました。今回の議題につきましては、資料の中にあります美唄市教育大綱(たたき台)、次の資料になりますけれども、平成28年度教育予算での協議・調整事項の大きく2点を予定しているところでございます。本日の教育委員会におきましては、内容についてご確認をいただき、30日の総合教育会議に臨んでいただきたいということで、内容のご説明をさせていただきます。教育大綱のたたき台につきましては、表紙の裏が目次になっておりまして、第

1 章が大綱の策定について、第 2 章が基本理念、第 3 章が重点方針となっております。具体的な内容は次のページ以降になりますが、まず、第 1 章の大綱の策定につきましては、1 に大綱の性格といたしまして、大綱は、法律に基づき策定するものであること。2 に関連計画との関係については、市の総合計画等との関連に基づいて教育分野の計画を包括するものである。3 に対象期間といたしましては、平成 28 年度から平成 30 年度までの 3 年間とします。第 2 章の基本理念として、「成長する市民社会を支える教育、文化、芸術の創造」ということを掲げてまいりたいと思います。第 3 章の基本方針で 5 項目あげていまして、それに基づき 3 年間、美唄市の教育行政を進めていくという柱建てであります。まず 1 点目は、まち全体で子どもを育む教育の推進といたしまして、内容は、美唄の子どもたちがこころ豊かに、健やかに成長し、将来、積極的に社会とかかわり、自らの役割と責任を果たせるよう、次の事項に視点をあてながら、美唄の教育を進めますとして、3 点あげております。1 点目は、「子育て支援と教育の連続化。」2 点目は、「美唄型コミュニティスクールの検討。」3 点目は、「様々な人材がチームとして学校を支える環境づくり。」でございます。柱建ての 2 つ目は、子どもの豊かな学びを支える教育環境づくりといたしまして、美唄の子どもたち誰もが安心して成長していくことができるよう、次の事項に視点を当てながら、豊かな学びを支える教育環境づくりを進めます。3 点あげておりますが、1 点目は、「美唄型小中連携教育の推進。」2 点目は、「心を育てる教育の推進とインクルーシブ社会の構築。」インクルーシブ社会とは、障がいのある方も、ない方もともに生き、ともに学び、ともに育ち合う社会を構築することです。3 点目は、「小中学校のあり方に関する検討。」をあげております。柱建ての 3 つ目は、地域資源を生かした多様な教育・学習機会の創出といたしまして、美唄にある様々な地域資源を活用し、多様な教育や学習のかたちを選択できるよう、次の事項に視点をあてながら、教育機会の創出を進めますとしていまして、1 点目は、「美唄の歴史や伝統文化、産業を知る学習の推進。」2 点目は、「学校を拠点とした生涯学習社会と地域コミュニティの再構築。」3 点目は、「生涯学習センターの検討。」これは、市民会館に変わる施設ということですが、生涯学習センターの検討ということをあげております。4 つ目は、健康長寿社会の実現ということで、1 点目は、「スポーツ健康都市宣言によるスポーツと健康づくりの連動。」ということで、スポーツ健康都市宣言につきましては、市長も公約として掲げている事項でありまして、来年度、28 年度に宣言を進めるべく準備を進めているところです。2 点目は、「子どもから高齢者まで誰もが参加できる生涯スポーツの推進。」3 点目は、「まちの一体感が生み出される健康づくり運動の推進。」ということで、今年度は、5 月

にチャレンジデーということで、市民の皆さんと一緒に健康づくりを進めましたが、そのようなイベントを契機に、まち全体で健康づくりを進めるというような考え方があります。5 つ目の柱は、文化芸術創造都市としての飛躍ということで、平成 26 年度に文化庁長官表彰をいただきまして文化芸術都市部門という内容でした。これを飛躍発展させるという意味で、1 点目は、「未来を拓く歴史を文化遺産の承継。」2 点目は、「自然環境への理解と保護。」3 点目は、「美術館のあるまち」が発信する美唄らしい文化・芸術の創造。」というような項目立てをしています。まだ少し書き足りないところもあるので、若干、修正を加えたいと思っていますが、大体、構成としては、このような考え方で組み立てたいと思っています。先ほど、委員長からご指摘があった、現在進めている美唄型教育研究会の研究調査活動のまとめもこれから出てきますので、その内容も踏まえた記述をしなければいけないかなと思いますので、例えば、既書いてあるのは、美唄型コミュニティスクールとか、チームとして学校を支える環境づくり、2 の下にあります小中学校のあり方に関する検討などの項目につきましては、研究会で決まったテーマに関わってくると思いますので、研究会の研究の取りまとめの内容に応じて加えていきたいと思っています。総合教育会議では、このような内容を説明し、意見交換をしたうえで、今年度中に、この大綱を完成したいと考えておりますので、これは、たたき台として、さらに加えたり、削ったりという作業が出てくるとは思いますけれど、最終的に来年 3 月末までには、最終案を作りたいと思っています。それは、第 3 回の総合教育会議での協議事項になろうかと思っています。それから、次のページ、平成 28 年度教育予算での協議・調整事項ということで 1 枚ものを用意してあります。これは、総合教育会議の中で教育予算に関しまして、市長部局との調整事項が必要になるということで、総合教育会議の中では設定をされていますので、現段階で考えられる項目につきまして、30 日の総合教育会議におきまして、市長の考え方との調整を図っていききたいと思っています。具体的な項目といたしましては、学校教育関係では、学校図書 of 充実ということであります。これまでの予算編成の中で、内部では議論してはまいりましたが、国の地方財政措置に対応する予算付けというところを、今まで、なかなか十分に対応できていなかったところもありますので、それを考え方としてすり合わせをして行きたいと思っています。2 点目は、小学校のパソコンの更新ということで、基本ソフトのサポート切れになるということに際しまして対応が必要になることにつきましても、確認をして行きたいと思っています。3 点目は、外国語指導助手（ALT）の増員の検討につきまして、既にご承知かと思いますが、小学校高学年で、外国語活動という形でやっているものを英語としての教科化される見通しとな

っています。それから、今、小学校 5、6 年の外国語活動が、小学校 3、4 年に前倒しされるということで動きがあります。今、中教審で諮問中なので、答申までは至っていませんけども、来年度には、答申が出される見込みとなっています。同じく中学校では、英語の授業は、英語でやると内容で、これは平成 33 年、その前の平成 31 年には全国学力テストの英語版を中学校でやるということも項目として出されていますので、このような、英語学習、英語教育の充実に向けた体制づくりと申しますか、現在、1 人で対応している外国語指導助手の守備範囲が、もう少し広がっていくのではないかと考えていますので、もう 1 人増やしてはどうかと、これは、学力向上プロジェクトチームの提言にも入っている内容であります。それから、就学援助充実の検討といたしましては、就学援助の追加 3 項目として P T A 会費、生徒会費、クラブ活動費と 3 つありまして、これは、美唄市での導入は実施できていないところであります。なぜできていないかと申しますと財源の問題です。これに当てる財源が確保できていない状況のために実施できていませんが、議会議論の中でも実施について言われていますので、いっぺんに 3 項目実施するのは、なかなか難しいかもしれませんが、優先順位を考えたらうえて、1 項目ずつ、年度を追って実現できないかということ、市長部局と調整したいと考えています。それから、市内高等学校への支援策も議会での議論がございましたけれども、生徒数が減って、間口も減っている状況もありますので、美唄尚栄高校、それから 1 度定員割れをしていました美唄聖華高校の支援策につきまして検討していきたいなと思います。生涯学習関係につきましては、市営野球場の改修ということで、老朽化が著しく危険度が増しているという現状もありますので、改修に向けた実施計画を平成 28 年度に取り組みたいと考えております。国の交付金の活用によって財源の目途がつけられそうでありますので、その方向で、調整をしたいと思います。2 点目は社会教育施設の改修ということで、多くの施設が古くなって、改修が必要になっているということを踏まえて、全体の状況を市長にも確認していただきたいということでございます。最後に、図書館蔵書の充実で、これも議会議論があったものですが、大きく予算を削減されて以来、なかなか復元できていないという状況でございまして、子どもの読書活動推進計画も見ていただきましたが、予算のレベルを上げていかなければならないと教育委員会では考えておりますので、その点についても強調させていただきたいと思っています。以上、大きく 2 点、30 日の総合教育会議では協議事項としてあげていきたいと考えています。委員の皆様にはご意見をいただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

●高橋委員長　ただいま、美唄市総合教育会議の開催についての内容についてご説

明がありましたか何か質問、ご意見ありませんでしょうか。30 日に会議を開催するという事で協議事項の説明がありましたか、何かありますか。

●齋藤委員 市営野球場の改修とありますが、ある程度の公的な大会ができるようになるまで改修を進める計画ということでしょうか。

●伊藤教育部長 公的な大会もございますし、日常、練習で使用する際も危険な状況が、現在あったり、雨が降ると本部席に浸水が激しいとかで、非常に使い勝手が悪く、かつ、危険性も増し、コンクリートの劣化も進んでいるので、危険度を、まず取り除くという観点からも早く着手したいなと思います。

●土肥委員 A L T の増員ですが、人数としては何人くらいの増員ですか。

●伊藤教育部長 学力向上プロジェクトチームは、1 人増やして 2 人ということですので、2 名想定で検討していきたいなと思っています。

●土肥委員 これは、外国人ということですか。

●伊藤教育部長 そうですね。英語を母国語とするというような人になるかと思います。

●高橋委員長 これはまた、協議していく中でも、いろいろと質問が出るということですか。

●伊藤教育部長 そうですね。市長サイドからも、いろいろ考え方が出されるのではないかなと思います。

●高橋委員長 これは、予算についての要望ですよ。

●伊藤教育部長 そうですね。

●高橋委員長 具体的には会議で決められども、実行されるというものではないということですかね。

●伊藤教育部長 事前の両者確認という感じになるかと思いますが、具体的には、予算編成作業の中で、ふるいをかけられて行きますので、事前の確認をしたうえで、その方向性で予算編成作業をしてもらいたいという意味も込めてです。今まで、なかなかこういう具体的な事前調整が出来なかったのですが、総合教育会議という機会が出来ましたので、その中で、具体的にやって行きたいなと思っています。

●高橋委員長 何か、ほかにありますか。

●早瀬教育長 総合教育会議というのは、市長だけじゃなくて、財政の方たちも意見は述べられないかもしれないけど、同席はするので、我々の意見を届けることはできると思います。

●森田委員 予算要望に大きく関わってくるということですかね。

●早瀬教育長 大きい影響はあるでしょうね。 今までよりは、ずっといいですね。

ダイレクトに聞いてもらえますから。

●伊藤教育部長　今までこういう作業なく、いきなり具体的な数字をあげていくことになっていました。その前段の考え方の説明とか意見交換などは出来るので、予算の整理の際には、非常に有効な場になるのでは、あるいは、しなくてはならないなということもあります。

●高橋委員長　よろしいですか。なければ、美唄市総合教育会議の開催については、これで終わりにします。

次に、その他 5 アルテピアッツァ美唄の美術館化についての説明をお願いします。

●高田生涯学習課長　その他 5 アルテピアッツァ美唄の美術館化について、ご説明をいたします。9 月の教育委員会議におきまして、美術館化の取り組みにつきまして、委員の皆様のご理解をいただいたところでございますが、ただいま、庁内手続きを通りまし 12 月の市議会定例会の議員協議会におきまして議会説明の上、パブリックコメントを募集したいと考えています。資料の 1 枚目に検討経過というのがありますが、その 1 番下の今後のスケジュールということで載っておりますが、12 月の市議会定例会で説明しまして、1 月、パブリックコメントの手続きを行います。3 月の市議会に条例改正案を提出いたしまして、4 月から改正条例施行というように考えています。それと並行して美術館化登録、博物館化登録の手続きを進めたいと考えています。めくりますと、条例の改正案があります。今回の条例改正に当たっては、まず 1 つ、アルテピアッツァ美唄という施設の名称について、頭に「安田侃彫刻美術館」という作家の氏名を名称に加えたいという部分が、1 つポイントになってくると思います。第 1 条 設置の部分では、この美術館の役割とか目的について、今までより詳しく突っ込んだ形で記載をしていくことで考えています。第 2 条についても、先ほどのタイトルのところで申し上げた通り、名称に「安田侃彫刻美術館」というのを載せていきたいと考えております。次に、改正案の第 3 条のところに事業があります。こちらについては、現行の第 11 条の使用の範囲という項目がありまして、ここで、アルテピアッツァを使うことができる活動の内容について書いてありますが、これを 3 条の方にもってきてまして、美術館の行う事業について定めていきたいと思っております。従いまして、改正後はこの 11 条の方につきましては、削除ということになります。改正案の第 4 条につきましては、アルテピアッツァ内の施設の構成についてということになっています。(1)で、最後、工房となっていますけど、今、(3)で体験工房として、カフェに併設されている部分がございますし、(1)の工房は、アートスペース、旧体育館の裏のギャラリーの奥の方に

楽屋のような部分があって、そこに、昔、工房という名称で使っていたところがあり、この部分を区別したいということです。この工房については、例えば、ミーティングルームとか、そのような名称に変更するということも併せて進めているところでもありますので、若干、議会に提出するまでの間に変更になるところも出てくることもありますので、よろしくお願いします。それは、その後、第 9 条とか第 13 条にも同じように、工房と体験工房の関係が出てまいります。あと、現行ではアルテピアッツァのことを表示するときには、「ピアッツァ」という略称を使っていたが、これを「美術館」と統一するようなことで、全体を通して変更していくのと、条文の号数が変わりますので、そういうところの整理も入ってくるものと思います。1 番最後のところに別表があります。こちらは、一部、使用料の改正も含んでいます。先ほどの使用料の関係で説明したところもありますが、今回、アルテピアッツァについては、美術館化と 1 つ形態の見直しということで、この契機に使用料につきましても改定を考えておりまして、こちらについては、近隣の類似施設の使用料の状況を確認しながら設けています。従いまして、もし、この条例案が 4 月 1 日施行ということになりましたら、この部分につきましても、周知期間が全くないということになりますと困りますので、この部分については、市民周知の期間を 3 か月程度とって、施行を 7 月 1 日とか、若干ずらす必要があるかと思います。今の資料の附則は、全部 4 月 1 日施行となっていますが、議会に説明するときは、このあたりの調整をして提出をしたいと考えております。次のページに、アルテピアッツァ美唄の基本理念ということですが、美術館にする意味合いといえますか、そういう事について、考え方を決めている訳ですが、下に 1、2、3、とあります「子どもたちの感性を育む美術館」「交流を広げる美術館」「世界に開かれた美術館」の 3 つのコンセプトを基に模様替えをしたアルテピアッツァ美唄を展開していくという考え方になっています。次のページには、美術館化に関する Q & A ということで、基本的に、美術館化の話聞いた市民の皆様が疑問に思うであろうということについて、あらかじめ 15 件ほど載せています。こういうものを示しながら、議会説明をし、パブリックコメントを実施していきたいと考えております。

●高橋委員長 ただいま、アルテピアッツァの美術館化についての説明をしていただきました。何か質問はございますか。

●森田委員 Q & A の 9 番で、安田侃さんの名前を入れるか入れないかというところで、彫刻品は安田侃さん以外のものは展示しないし、置かないという考えですか。

●高田生涯学習課長 これまでもそうだったのですが、基本的に常設のものは、安田先生の作品だけとなっております。一部市民ギャラリーの方では、市民開放をし

ており、色んな方が、それを利用して、自分の作品を展示したりしていますが、全体の常設展については、安田先生の作品だけと考えております。他に、美唄市のほかの作家の絵画を中心にいろんな作品を持っていますが、それについては、今現在、南美唄小学校の方に収蔵庫を持っておりまして、そちらの方に保管してありますけれども、将来的には、これも先ほど別件で説明のあった生涯学習センターの方が開設された時には、そういう物を展示できるスペースですとか、検討できればいいなと考えております。

●土肥委員 年間の予算ですが、アルテにかかる予算は、今までとは、どのように変わってくるのですか。

●高田生涯学習課長 基本的には、今までの予算の中でと考えております。例えば、美術館化することによって、館長とか学芸員とかが必要になりますが、学芸員につきましては、現在NPO法人の学芸員が2名おりますので、それは、現在の委託料の中で賄えますし、館長につきましては、どういう形で配置するにせよ、現在の指定管理費の中で賄っていただきたいという話はさせていただいています。将来的には、職員の待遇改善とかいろんな問題がありますが、賃金が市役所の臨時職員のベースになっているとか、嘱託職員のベースになっているところがありますので、そういう部分はきちんと生活が保障できる賃金という考え方で、ほかの施設もそうですが、私も進めていますので、その考え方に沿って、待遇改善に必要な費用増ということも求めていると考えております。

●土肥委員 ピアッツァを美術館にするということで、どんなメリットがあるかと、ここに質問がありますが、この内容を読む限りでは、別に美術館にならなくても、今までと大して変わらないのではということしか書かれていなくて、学芸員を置くのでといっても、今までも学芸員がいる訳ですし、全国の美術館との情報交換や美術館としての情報発信が可能になるということですが、今のままでも十分情報発信なんかは可能だと思いますけど、絶対に美術館にしたいという意気込みという確たる理由というものを示さないと、市民の方が納得しないのではないかと思います、どうなのでしょう。

●高田生涯学習課長 アルテが開設されて二十数年経ちまして、今、海外からの観光客が今年は5千数百人来るようになって、国際的にも、ある程度認知されているという部分もありますし、文化庁長官表彰を受けて、芸術文化創造都市というものもいただくようになりました。アルテピアッツァについては、広くそういう意味では美術館というような認知していると思います。認識的には。実際には美術館、博物館相当施設というような形になっているのですが、市の位置付けとしても、きち

んと美術館登録ということをして、美術館という位置付をした上で、今後、増えてくるであろう来館者や、行う事業についても、美術教育とか美術館にふさわしいレベルに上げて、やって行きたいと思います。今、計画しているのは、子どもたちを対象にした美術教育ということですが、そういうものについても、美術館としてのレベルでサービス提供できるようにやっていくため、環境整備ということで考えております。

●土肥委員 分かりました。

●高橋委員長 今後は安田先生の作品を増やしていくとか、そういうことは考えていますか。

●高田生涯学習課長 うちの課の段階では、そういうことは全く考えておりません。現状の中で、作品を維持していくというように考えています。

●高橋委員長 現在置かれている安田先生の作品の所有のことですが、作品についてはお借りしている部分もあると聞いていて、今後、安田先生が亡くなった場合とか、そういう場合どうなっていくのか、作品を維持していけるかどうかとなった場合、今後ですね、その点についてはどうなっているのでしょうか。

●高田生涯学習課長 今、アルテには、作品が 44 点ありますが、15 点は市の所有ということで買ったものだったり、寄贈してもらったりというものののですが、残り 29 点につきましては、毎年、覚書を交わしておりまして、安田先生からお借りしているものです。万が一そういうことがあった時、今のままですと安田先生の経済状態とかは、詳しく承知していませんが、もし抵当とかそういうことがありましたら、権利の持った人が引き上げていくということは十分考えられますし、イサム・ノグチの時はそうだったと実際の話もあります。ですから、今後は安定的に作品を確保して、永続的に運営していくためには、今借りている作品についても、きちんと保有権を主張できるような形をとっておかなければならなりませんので、今、その美術館化の次に、きっと出てくることだと思いますけども、運営形態も含めて作品の持ち方については、十分検討していかなければならないと考えていますし、安田先生自身が、自分のいなくなった後の作品のことを一番心配されています。相続等の関係がありますので、次の段階で整理するということになると思います。

●高橋委員長 そういう時のために、美術館の方が、話が進みやすいということですか。

●高田生涯学習課長 まだ全然それは計画的になったという訳ではないんですが、財団みたいなものを立ちあげて、そこで、作品を所有するとか、そういうようなことになると、美術館登録をされていて、これまでの実績というものを見ていただいた

方が、そういうこともしやすいポイントにはなるのかなと思います。

●高橋委員長 あと１点、以前、アルテを使って周年事業を行ったことがございますが、美術館になっても、そういう形での使用というのは可能なのでしょうか。

●高田生涯学習課長 美術館になっても、基本的には市の公共施設ですので、そういう使用の仕方とかは、大いに利用していただかなくてはいけないと思っていますし、そのあたりは、NPOとか安田先生の方とも十分調整協議しながら、今まで通りの使い方ができるようにして行かなければいけないと思っています。

●高橋委員長 美術館化されても、今まで通り、広く使用できるよう検討して、解決していただけるということですね。

●高田生涯学習課長 よほど歯目を外されたり、そういうことがない限り、先ほど、Q&Aでも出てきたと思いますが、施設の内容ですとか利用の仕方については、これまで通りということで原則思っておりますので、そういうことについては、十分配慮していきたいと考えております。

●森田委員 パブリックコメントを行うということは、市民から名称も含めた意見を取るということですね。その時点で意見があれば、また、この場で検討するということですか。

●高田生涯学習課長 それは、そうですし、その後、議会も予定しておりますので、議会の中でも、リアクションがあるのかなと思っています。

●高橋委員長 あんまり、市民に周知されているところは少ないところもあるので、相当な意見が出てくるのではないかなという気がするのですが、間違った形で、大きな費用がかかるというように認知されている方もいらっしゃるようですし、そういう点については、非常に丁寧な説明をしなければ、市民感情を害するというところではないかなと思います。ほかに何か意見ございますか。それでは、なければ、その他５ アルテピアッツァ美唄の美術館化についてはこれで終わります。本日の議案は全て終了いたしました。他に何か事務局からありますか。

●伊藤教育部長 事務局からはありません。

●高橋委員長 委員さんの方から何かありますか。

●各委員 ありません

●高橋委員長 なければ、平成 27 年第 15 回美唄市教育委員会議を閉会いたします。ご苦労様でした。

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 工肥原子

【別紙 1】

教 育 長 報 告

自 平成 27 年 10 月 27 日

至 平成 27 年 11 月 17 日

区 分	会 議 等
10月27日	第 14 回教育委員会議 教育委員室
27日	文化財保護委員会 第 3 会議室
28日	学校訪問(～11 月 4 日) 市内各小・中学校、幼稚園
28日	第 61 回美唄市女性大会 総合福祉センター
28日	学校職員互助会レクリエーション 総合体育館
11月 2日	一般教職員人事事前協議(～5 日) 教育委員室
5日	感謝状贈呈式(サトー工建(株)) 市長応接室
5日	美唄市教育委員会感謝状贈呈式 市長会議室
9日	公開研究会 南美唄小学校
10日	学校職員人事面接(～18 日) 市内各小・中学校
11日	市政功労者表彰式 大会議室
12日	第 3 回社会教育委員会議 市長会議室
13日	平成 27 年第 4 回市議会臨時会 議場ほか
16日	北海道教育委員会教育長視察 アルテピアッツァ美唄
17日	北海道都市教育長会秋季定期総会 旭川グランドホテル(旭川市)

上記のとおり報告する。

平成 27 年 11 月 18 日

美唄市教育委員会

教育長 早 瀬 公 平

【別紙2】

10 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
27	火				
28	水				
29	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	市民
30	金	キッズ・ダンス教室⑦	16:00	市民会館	市民
31	土	美唄サテライト・キャンパス「アイヌ文化と北海道」	13:00	大会議室	市民

11 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	日	読書週間特別展（～15日）	10:00	図書館ロビー	市民
2	月				
3	火	第63回美唄市文化祭芸能祭		市民会館	市民
4	水	第2回青少年有害環境浄化モニター会議	17:00	市役所第3会議室	関係者
5	木	美唄市教育委員会表彰（感謝状贈呈式）	16:00	市長会議室	関係者
6	金				
7	土	戦後70年企画 後藤竜二作品朗読会	13:00	市民会館会議室	市民
8	日	第63回美唄市文化祭音楽祭		市民会館	市民
9	月				
10	火				
11	水	キッズ・アスリートスクール⑮	17:00	総合体育館	市民
12	木				
13	金				
14	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
15	日				
16	月				
17	火				

12 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	火				
2	水				
3	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	図書館
4	金				
5	土				
6	日				
7	月				
8	火				
9	水				
10	木				
11	金				
12	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
		グリーンルネサンス・シンポジウム	12:00	市民会館	学務課
13	日				
14	月				
15	火				
16	水	第9回定例校長会議	9:30	市長会議室	指導室
17	木	第9回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育委員室	指導室
		3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	図書館
18	金				
19	土	第2回美唄キッズ漢字検定	10:00	市民会館大会議室	生涯学習課
		おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
20	日				
21	月				
22	火				
23	水				
24	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	図書館
25	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
26	土				
27	日				
28	月				
29	火				
30	水				
31	木				

【生涯学習課】

街頭指導 3日（木）

生徒指導交流会 22日（火）

【生涯学習課サテライト・キャンパス推進室】

協働事業～尚栄高校での出前授業（12/8）